



No.149

ごき 議会だより



🌸 リレーが一番楽しかった。

🌸 感動をありがとう。



なかむら みお
中村 心桜さん

🌸 チャンチキ上手にたたけて嬉しかったよ。

🌸 とっても上手にたたけていたよ！感動しました。



しばた さな
柴田 沙南さん



こばたけ かえで
小畠 楓さん

🌸 みんなでリレーを走れたのが楽しかった。

🌸 年長さんらしい、上手な演技で成長を感じました。

🌸 園児から

🌸 保護者から

- 平成30年第3回定例会
- 常任委員会・決算特別委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 議会トピックス・議会の動き

今回の表紙を飾るのは五霞幼稚園・保育園の園児の皆さんです。



「議会だより」をスマートフォンなどで見ることができます。

平成30年第3回定例会(9月)

平成29年度決算を認定

歳出総額 82億3千万円

一般会計 44億2千万円

平成30年第3回定例会が、9月10日から21日までの12日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成29年度各会計決算をはじめ、平成30年度一般会計・特別会計補正予算など17件の議案等が提出され、全て原案のとおり可決しました。

会期中、総務文教委員会、経済建設委員会が開かれ、関連議案について審議しました。

また、9月13日・14日・18日の3日間にわたり決算特別委員会が開かれ、平成29年度の各会計決算について集中審議しました。

なお、町政全般にわたり3名の議員が一般質問をしました。



平成29年度 会計別決算の状況

(単位：千円)

会計名		平成29年度 歳入決算額	平成29年度 歳出決算額	歳入歳出差引
一般会計		4,623,747	4,424,572	199,175
特別会計	国民健康保険	1,347,814	1,261,338	86,476
	後期高齢者医療	178,265	177,925	340
	介護保険事業	695,742	686,318	9,424
	公共下水道事業	594,701	589,147	5,554
	農業集落排水事業	173,953	172,952	1,001
	小計	2,990,475	2,887,680	102,795
企業会計	水道事業(収益的収支)	512,870	466,866	46,004
	水道事業(資本的収支)	220,886	451,823	△230,937
	小計	733,756	918,689	△184,933
合計		8,347,978	8,230,941	117,037

平成30年第3回定例会では、2ページのほか下記のことが決定しました。

議案第44号 ⑧	平成30年度五霞町一般会計補正予算（第2号）	
	歳入歳出それぞれ314万3千円の減額 （歳入）普通交付税3,216万4千円の追加 前年度繰越金4,465万7千円の減額 （歳出）国民健康保険特別会計繰出金5,220万7千円の減額 五霞IC周辺地区土地区画整理組合負担金1,000万円の追加 など	
議案第45号 ⑧	平成30年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
	歳入歳出それぞれ2,393万8千円の追加	
議案第46号 ⑧	平成30年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
	歳入歳出それぞれ335万3千円の追加	
議案第47号 ⑧	平成30年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	
	歳入歳出それぞれ912万8千円の追加	
議案第48号 ⑧	平成30年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	
	歳入歳出それぞれ26万5千円の追加	
議案第49号 ⑧	平成30年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	
	歳入歳出それぞれ97万1千円の追加	
議案第50号 ⑧	平成30年度五霞町水道事業会計補正予算（第1号）	
	(収益的収入及び支出) 収入支出それぞれ516万4千円の追加 (資本的収入及び支出) 支出117万円の追加	
報告第3号	平成29年度五霞町財政の健全化判断比率等について	
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき平成29年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告 ・実質公債費比率 8.8%（前年10.2%）…25%未満であれば良好な状態 ・将来負担比率 13.3%（前年26.3%）…350%未満であれば良好な状態 ・実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率はいずれも該当なし	
発議第2号	五霞町議会決算特別委員会の設置	
請願第1号 ⑧	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採 択

⑧=総務文教委員会付託 ⑧=経済建設委員会付託

※議案第51号から議案第57号については、平成29年度各会計決算となります。

常任委員会

Q & A

Q 今年から国民健康保険制度の財政運営の責任主体が県へ移行となったが、保険税及び基金積立金は今後どうなっていくのか。

A 今後も保険税は町が徴収します。県へ納める納付金は市町村毎に算定され、保険税で賅うことが原則ですが、不足する部分があった場合、町が補てんをして納めます。これに伴い、税率を引き上げた市町村もありましたが、本町は基金積立金があったことなどから、税率を変更することなく移行ができました。今後も基金の計画的な繰入れを行いながら、急激に保険税が上がることをないよう努めています。

Q Jアラート更新事業の予算について、一般財源から町債に財源振替を行うのはなぜか。国から補助金はないのか。

A 当事業費については、地方交付税措置となります。ただし、地方債を充当した部分が対象であるため振替をするものです。



Q 教育総務費に新たに計上された総合保障保険料の内容は。

A 不審者等対策として児童・生徒の登下校中の見守り活動をしていただくスクールガードの方々に対する傷害保険料です。



Q 県営地盤沈下対策事業については、平成22年から平成33年度を第3期とし、事業費の3%を町負担金として県へ支払っている。今回の追加補正を合わせると、今年度の総事業費は1億8,400万円、町負担金は552万円になるが、残り3年の町負担金はどの程度になる予定か。

A 今期の事業予算額18億円のうち、5億円が未執行となっていることから、1,500万円程度になる見込みです。

工事費負担割合

国	55%
茨城県	39%
五霞町	3%
五霞土地改良区	3%

Q 五霞IC周辺地区土地区画整理組合への負担金1,000万円追加について説明を。

A 区域内に整備される公園へのトイレ設置に係る費用3,000万円のうち、1,000万円を町が負担するものです。費用の内訳は設計費、建屋を含む設備工事、農業集落排水施設への接続工事、建築確認等経費となっています。

意見書を提出

定例会で採択された請願について、地方自治法に基づき、意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

(なお、文章は要約して掲載しています)

○教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。そのためには、学校現場において教職員の長

時間労働是正が必要であり、教職員定数改善も欠かせない。

国の施策として財源保障をし、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、次の事項を強く要請する。

- 1 計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること

決算特別委員会

Q & A

Q 人件費が増加し、歳出全体の18.9%を占めているが、何%に抑えるというような指標はないのか。

A 町では、職員数を適正に管理するため、定員管理計画を策定しており、その中で今後10年間の人員の配置について位置づけていますので、計画に基づき適正化を推進していきます。

Q 茨城空港利用促進等協議会へ負担金を支出しているが、本町のように空港から遠い地域に恩恵はあるのか。

A 現在、観光客の誘致やグローバル化に向け、県を挙げて取り組んでおり、2020年に開催される東京オリンピックでは、本県がサッカー会場になっていることを見据え、全県的に盛り上げて、インバウンド効果を高めていこうということで継続されているものですので、ご理解いただきたい。



Q 町有財産管理事業の中で、雑草等除去に800万円強の委託料を支払っている。これを毎年支出すれば相当な額になるが、防草シートを利用する方法などは考えていないか。

A 防草シートは経年劣化に

よる更新をしなければなりませんので、長期的な面を考慮したうえで、その他手段も含め経済比較をしながら検討していく必要があると考えています。

Q ふるさと応援寄附金のPRは。

A 「サイネックス」「さとふる」「ふるなび」の3社へ委託し募集をしています。寄附金額は、平成28年度が約600万円、平成29年度が2,638万円で、徐々に伸びてきています。



Q 防犯カメラの設置について、どのような計画をしているか。

A 平成28年度から平成31年度までの4カ年で20基を整備する計画で進めています。これまでに、学校・幼稚園付近、通学路に関係した箇所に設置しました。今後は町外から町内へ入ってくるような交通の要所に設置を予定しています。

Q 国保税の滞納者に対するペナルティは。

A 高額療養費等の保険給付が制限されます。医療費が高額になる場合、窓口での支払いを一定額に抑えることができる「限度額適用認定証」の交付を受けられなくなります。

Q 放課後児童健全育成事業で、放課後の小学生を対象に

両保育園でお預かりするということですが、利用人数はどのくらいか。

A 川妻認定こども園は30名、五霞保育園は40名の方が利用しています。

Q 農業経営者の育成を目的に農業経験の浅い方を対象に開催している「農業塾」の成果について、何名の方が受講されているのか。また、どのくらいの方が道の駅へ出荷しているのか。

A 平成29年度の受講者は20名、平成30年度は22名です。現在、10名の方が道の駅へ出荷をしています。

Q 上下水道施設で今後に想定している老朽化対策は。

A 下水道について、具体的な整備計画となるストックマネジメント計画を策定していきます。今後は管渠のカメラ調査や流量の調査を行い、修繕が必要な箇所の特定をしていく予定です。

Q 小学生50冊、中学生30冊という年間の読書量達成率について、小学生が100%に近いのに対し、中学生が50%以下であるという結果ですが、この要因は。

A 中学生は部活動及び勉強が忙しいことと、携帯電話を持つ生徒が増えていますので、SNS等を使用する時間が増えたことなどが挙げられます。



ここが聞きたい 一般質問

紙面の都合で発言を要約して掲載しています。



大久保 帝二 議員

問 五霞インター周辺開発事業について

答 住民の要望を考慮し計画どおり進めたい

来年は五霞誕生130年の節目を迎え、飛躍の第一歩を銘記すべき年としなければならないと思うが、町の最重要課題である企業誘致について問う。

問 計画・用途においてのAブロックの進捗は。

都市建設課長 約5.2ヘクタールの区画にはオーダーメイド型物流施設が、隣接する約1.2ヘクタールの区画には製造業の(株)シンワ機械が進出を決定しています。

問 Bブロックの商業施設は。

副町長 大型商業施設の誘致は厳しい状況にあるため、日常生活用品を扱うスーパーマーケットや飲食店等を配置したロードサイド型の商業施設も視野に業

務代行者とともに一日も早く誘致できるよう努めていきます。

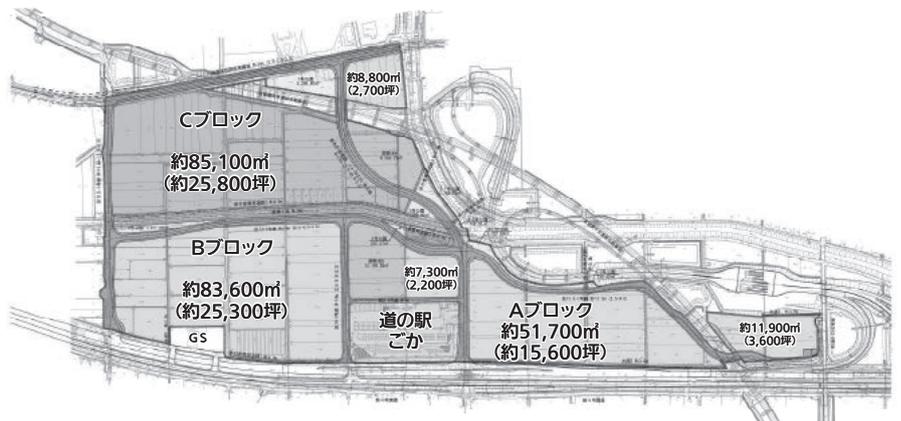
問 Cブロック操業に向けての雇用について。

都市建設課長 進出が決定しているマルチテナント型物流施設は10月末に完成予定です。雇用については、現時点で250～600人程度と聞いています。地

元からの優先雇用をお願いしています。

問 区域内の安全対策は。

都市建設課長 通学路の動線や交差点横断状況を再度整理し、歩道の設置、横断箇所にグリーンベルトの設置等に安全に配慮しています。



五霞インター周辺開発地区概略図

問 道徳教育の教科化への対応は

答 教育活動を通して郷土愛を育んでいきたい

学校教育について問う。

問 現状と対策は。

教育長 夏休みに地域で学んだり経験したことを力に2学期がスタートしました。町では、夏休みに県の事業である「学びの広場」を実施し、児童・生徒の算数・数学の基礎・基本の定着を図ってきました。また、今年度から小学校では道徳が教科化されました。

問 中学生議会の成果は。

教育次長 各クラスの代表が中学生議員となり、クラスで事前に協議した意見や要望などの質問を行い、生徒からは「質問に真剣に答えていただき嬉しかった」「五霞町の良い点、改善したい点がよくわかった」「中学生議会はまた開催してほしい」等、多くの感想が聞こえました。

町長 中学生議会を通し、議会や五霞町に対する意識を高める

ことができたのではないかと思います。若い世代の夢や願いに耳を傾け、その実現に努力することで、子どもたちが五霞町に住み続けることにつながると考えています。



問 防災・減災の取組みについて

答 常総市等の取組みを参考に、リーダーの育成を含め対応したい

近年、全国的に豪雨や地震災害が多発。五霞町では、今のところ大きな被害を免れています。町の備えを伺います。

問 雨水対策、道路排水処理能力は。

都市建設課長 原宿台土地区画整理区域では、宅内及び道路は時間50ミリの強度を有する雨水管より各調節池へ。他の区域では、一般住宅等は宅内処理、道路は道路側溝より土地改良区排水路へ。ともに最終的には中川へ放流しています。

問 タイムラインは。

生活安全課長 河川の水位上昇に応じて、国からの情報収集、役場内の体制確認、水防団への指示、災害対策本部の設置を行うとともに、災害の発生が予想される場合、避難準備情報、避難勧告、避難指示の発令、放送に至るまでの計画です。

問 ハザードマップは。

生活安全課長 利根川、江戸川の破堤を想定し、町内の浸水状況をシミュレーションしたマップ、避難放送等の内容と意味、その時点での住民の行動、避難所などを掲載。来年3月中には水害に対する各種情報を盛り込んだ改訂版冊子を全戸配布予定です。

問 地震対策、ブロック塀倒壊危険箇所は。

教育次長 西小学校の門柱は撤去し、空いた箇所にフェンスを設置。中学校の正門両側の大谷石の塀は、カラー三角コーンと安全バーを設置し通行者に注意喚起。通学路の危険箇所は、地震が起きた際には迅速にその場から離れるよう引き続き指導していきます。

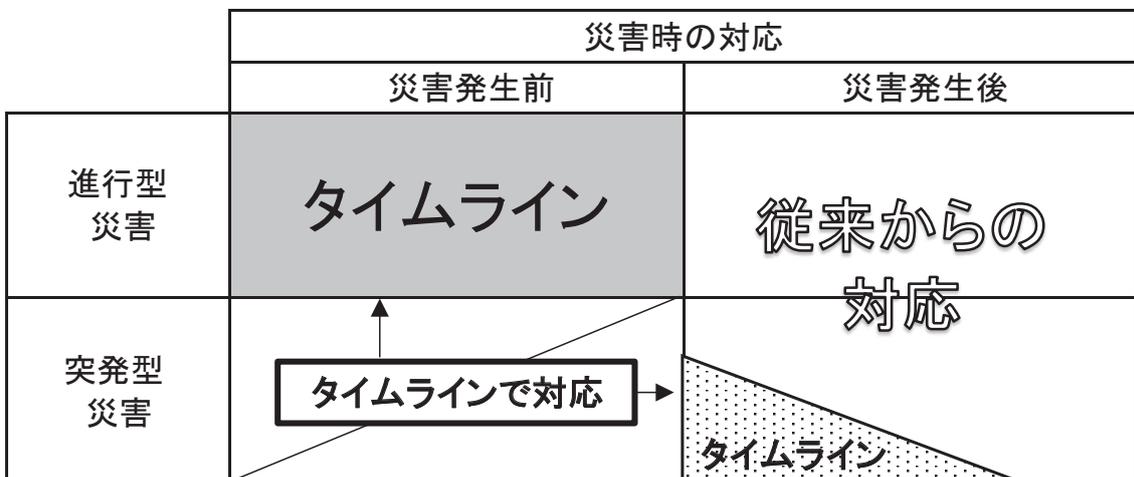
生活安全課長 災害時には、不安定な工作物には近寄らないことを周知。住民に所有ブロック塀等の再確認をという機会を設け、広報紙等での啓発も予定しています。

問 自主防災組織、編成と準備は。

生活安全課長 住民が団結し、組織的に行動し、地域全体が協力することにより、より多くの生命、財産が守られ、救われることからの編成です。

町長 常総市等は検討委員会も立ち上げ、マイタイムライン作成の仕方も指導。常総市の防災士は、市が助成して積極的に取得。これらを参考に、防災のリーダー育成も含め対応していければと考えています。

災害対応におけるタイムラインの位置づけ



「タイムライン（防災行動計画）策定・活動指針（初版）」平成28年8月
 <国土交通省 水災害に関する防災・減災対策本部 防災行動計画ワーキング・グループ>



問 今後、介護事業の方向性は

答 どのサービスを重点的に充実させていくかが必要

現在、急速な高齢者の増加に対応したサービス拡充を図るため、福祉関係の事業費は増加の一途を辿っており、この傾向は今後ますます続くものと予想されるが。

問 今後、社協（社会福祉協議会）への事業委託についての町の方向性は。

町長 民間の事業所にできることはお願いし、補えない事業については社協、また公的機関である町、これらが事業展開を行っていかねばならないと考えています。

問 あえて社協に外部委託するメリットは。

健康福祉課長 介護に携わる専門職が配属されており、今後も予想される方針に対応できます。

問 居宅介護支援事業所と訪問と通所の介護事業所の併設について見直す時期では。

健康福祉課長 各事業所も含め、町全体で協議をする必要があります。

問 社協の職員人件費は町の補助金で賄っているが、新規も含め、昨年度と業務の変更はないが、本年度2名増となっている。新規に採用した根拠は。

健康福祉課長 長期的な視点での人材確保・育成への取組みのためです。

問 福祉センター「ひばりの里」は社協が指定管理者だが、ほかの民間機関も参入できる公募はしているのか。

健康福祉課長 指定管理者選定委員会に諮り、委員から公募に適さないという意見があり、公募はしていません。

問 同施設は深刻な地盤沈下が進んでいるが。

健康福祉課長 現状、地盤沈下による被害が確認されています。今後は利用者の安全を確保しながら、施設全体の方向性とあわせ検討したいと考えています。

問 入浴施設についてはボイラー修繕等、今後、大きな負担がかかる。継続の方向を探る時期にあると思うが。

健康福祉課長 ボイラー修繕については、新規更新には約1,200万円。故障箇所の修繕は1基あたり200万円の費用が必要と試算が出ています。関係機関等で協議して対応していきます。



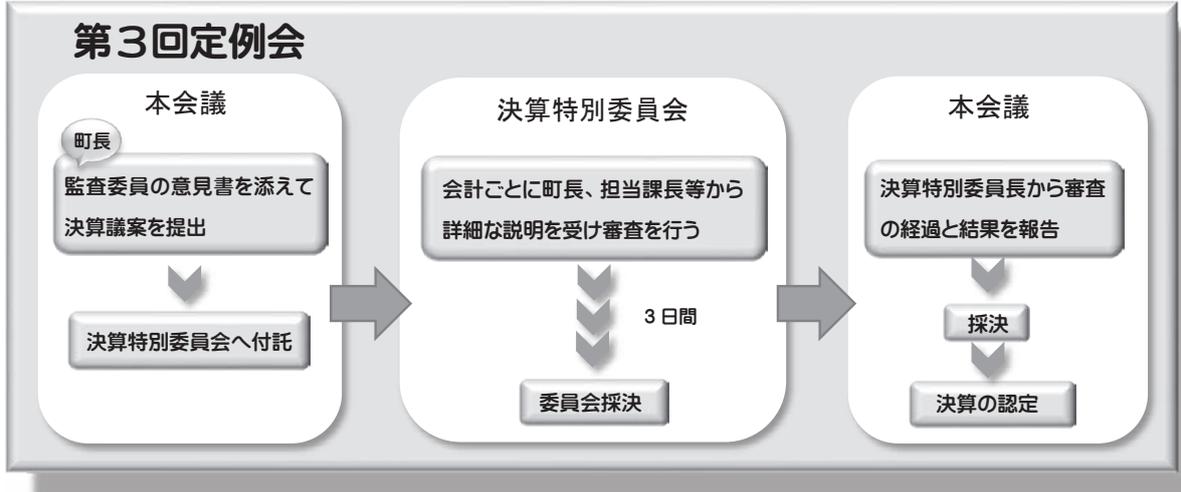
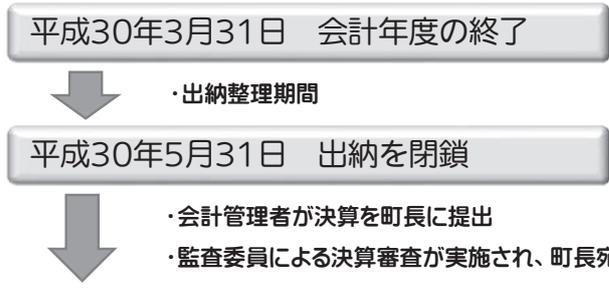
福祉センター「ひばりの里」

特集 「決算」ってなあに？

町の予算は、年度ごとにお金の使い道を計画して組まれています。その予算がどのように使われたのかをまとめたものが「決算」です。

第3回定例会において町長から提出された平成29年度決算について、町議会では特別委員会を設置し、予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを慎重に審査しました。

平成29年度決算を認定するまで



● 議会トピックス ●



総務文教委員会研修会

8月20日、総務文教委員会では所管する国民健康保険制度と後期高齢者医療制度について、今年度から国民健康保険の運営が町から県へ移行し、制度が大きく変わったことから、町民税務課担当職員に出席を求め、制度の概要、これまでの推移、今後について問いました。

五霞町議会役職構成

(平成30年12月1日現在)

役職名	人数	氏名
議長	1名	樋下周一郎
副議長	1名	板橋英治
常任委員会	総務文教委員会	5名 ◎伊藤 正子 ○青木 武明 樋下周一郎 大久保帝二 高橋 宏光
	経済建設委員会	5名 ◎宇野 進一 ○新井 庫 鈴木喜一郎 板橋 英治 植竹美智雄
議会運営委員会	5名	◎鈴木喜一郎 ○青木 武明 宇野 進一 伊藤 正子 新井 庫
広報編集特別委員会	6名	◎大久保帝二 ○高橋 宏光 新井 庫 植竹美智雄 樋下周一郎 板橋 英治
町議会堤防強化事業対策特別委員会	9名	◎鈴木喜一郎 ○植竹美智雄 青木 武明 宇野 進一 大久保帝二 伊藤 正子 板橋 英治 高橋 宏光 新井 庫
議会選出監査委員	1名	青木武明
さしま環境管理事務組合議員	3名	青木武明 鈴木喜一郎 宇野進一
利根川栗橋流域水防事務組合議員	2名	大久保帝二 新井 庫
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議員	2名	樋下周一郎 植竹美智雄
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員	1名	樋下周一郎

◎委員長 ○副委員長

● 議会トピックス ●



消防ポンプ操法大会 消防団選手を激励

10月7日の早朝、茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会に出場する消防団選手を激励しました。会場へ出発する前の消防団のもとを訪れ、議会を代表して樋下議長から大会での健闘を祈り励ましの言葉をおくりました。

大会には県西地区10市町が参加。6人1組でポンプ車からホースを延ばして放水し、的を倒すまでの時間や正確性を競い合いました。

わかりやすい議会 Q & A

Q：茨城西南地方広域市町村圏事務組合ってなあに？

A：古河市、下妻市、坂東市、常総市（石下地区）、八千代町、境町、五霞町の7市町により構成され、消防・救急業務に関することや利根老人ホームの管理・運営、救急医療の確保など、さまざまな事務を共同で処理しています。

Q：組合にも議会があるの？

A：構成市町の議会から選出された議員が集まり議会が開催されます。町の議会と同じように、定例会や臨時会があり、組合の予算・決算や条例等の審議をします。

議会の動き（9月～11月）

9月10日	第3回定例会初日	9月21日	議会運営委員会
9月11日	総務文教委員会	〃	議会全員協議会
9月12日	経済建設委員会	10月3日	広報編集特別委員会
9月13日	決算特別委員会	10月19日	議会全員協議会
9月14日	決算特別委員会	11月2日	広報編集特別委員会
9月18日	決算特別委員会	11月15日	広報編集特別委員会
9月19日	一般質問	11月22日	議会運営委員会
9月21日	第3回定例会最終日	〃	議会全員協議会

Q：町にある消防署も、この組合で設置しているの？

A：そのとおりです。古河消防署管轄の五霞分署は、昭和49年から仮庁舎で救急業務が、翌年から消防業務が開始され、昭和51年に現在の庁舎が開署しました。以来、町の消防及び救急の要として地域の安心・安全な暮らしを守っていただいています。

**次回
定例会**

12/7(金)～12/14(金) 予定
傍聴してみませんか？

議場で開催される本会議は公開しています。
簡単な手続きで、どなたでも傍聴することができます。

一般質問は 12/12(水)・12/13(木) 予定しています。

※詳しくは、議会議務局又は町公式ホームページでご確認ください。

広報編集特別委員会

委員長	大久保	帝	二
副委員長	高橋	宏	光
委員	新井		庫
	植竹	美智	雄
	樋下	周一	郎
	板橋	英	治